

【メルマガ特典⑥】

お金の基本と 正しい増やし方

目代康二

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 5 条 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

【はじめに】

この特典では、投資云々という話の前に、お金の基礎知識をご紹介します。

あなたがお金のこと悩んでいるのは、ひとえに誰からもお金の正しい知識を習っていないからです。

小学校や中学校を思い返してみても、お金のことを習ったことなんてありませんよね。

お金に対する正しい知識がないと、投資を始めるためのお金がそもそも用意できなかったり、せっかくお金が増えても、すぐにそれを散財してしまいます。

この特典では、お金に対する正しい向き合い方を解説しますので、お金に対する考え方を改めて考え直してみてくださいね。

「お金」とは？

私たちが日々生活を送る中で、「お金」は切っても切れない存在です。

あなたが会社で働いているのは、ひとえに「お金」を稼ぐためですね。

でも、ここで一つ質問が。

お金お金と言っていますが、そもそも、お金とは一体何なのでしょう？

この章では、「お金」そのものについて解説します。

お金 = 交換手段

例えば、あなたがいま無人島に1人であるとして、唯一の持ち物が1億円の札束だったとします。

果たして、その札束は何かの役に立ちますか？

何の役にも立ちませんよね。

今あなたに必要なのは、水や食料、雨風をしのげる場所、衣服などのはず。

お金は何か別のものと交換できるからこそ価値があるのであって、無人島のように他に交換できるものがない状況では、何の価値も持たないのです。

つまり、お金そのものには何の価値もなく、何か別のものと交換できるという「交換手段」としての役割しかないのです。

さて、お金が存在する前の時代は、人々は「物々交換」で取引をしていました。

例えば、食料のやりとりなどがそれですね。

でも、それだと非常に不便です。

この不便を解消するために生まれたのが「お金」というわけです。

そして、あなたはモノやサービスを世の中に提供することで、その対価としてお金を得ています。

例えばサラリーマンだったら、会社がモノやサービスを世の中に提供するのを手助けすることで、対価としてお金をもらっているわけです。

そして、そのお金を使って、あなたは様々なモノやサービスを購入しています。

お金が間に入っているので分かりにくいですが、本質的には「あなたが提供したモノやサービス」と「あなたが購入したモノやサービス」を物々交換しているに過ぎないのです。

そのため、お金がもっと欲しいという人は、あなたが提供しているモノやサービスの「提供内容」や「提供範囲」を変えればいいのです。

例えば、会社1社だけに「労働」を提供するのではなく、不動産投資を通じて、入居者に「住空間」を提供したり、株を購入することで企業を「応援」すれば、その対価としてもらえるお金が増えていきます。

不思議な話に聞こえるかもしれませんが、世の中に価値を提供すればするほど、対価として入ってくるお金が増えるのです。

さて、お金の基本が分かったところで、次の章からはお金を増やす方法を解説します。

お金を増やす方法

誰だってお金は多くあった方がいいですね。

お金を増やす方法は2種類あって、「支出を減らす」方法と、「収入を増やす」方法があります。

特に収入を増やす方法は、世の中的には敬遠される傾向がありますが、支出を減らす方法を選ぶよりもよっぽどお金が増えやすいです。

支出を減らす方法

お金を増やす最も簡単な方法が、支出を減らす、つまり節約をすることです。

出ていくお金が減れば、それだけ手元に残るお金が増えるということですね。

それでは、どのような方法で節約をすればいいのでしょうか？

家計簿をつけよう

節約をする上では、実は家計簿をつけることが非常に有効です。

家計簿をつけるだけで、毎月の支出が見える化され、不要な支出を防ごうという意識が働くため、支出が減ります。

節約を「会社の仕事」だと考えると分かりやすいと思います。

会社の仕事で「改善点」があったら、まずは何をしますか？

まずは現状の「数字」を把握して、それから具体的な行動プランを考えますよね。

家計もそれと同じです。

まずは家計簿をつけることで現状を認識し、その上で具体的なプランを練ります。

そもそも家計簿すらつけられない人が、節約を継続できる可能性は極めて低いでしょう。

固定費を見直そう

次にやりやすいのが、毎月必ずかかる固定費を見直すことです。

特にスマホなどの通信料と保険料の見直しが効果的です。

例えば、大手通信キャリアを使っている人は、MVNOに乗り換えてみるといいでしょう。

通信スピードなどは大して変わらないまま、月々の料金を大幅に下げることができます。

最近は電話も通話アプリを利用することが多いですから、思い切ってデータ専用プランに移行するのもアリです。

この場合、月々1,000円以下でスマホを持つことが可能です。

ちなみに、僕もMVNOを契約していますが、無料通話とデータ通信がついて、月々3,000円以下です。

また、生命保険や医療保険、自動車保険を見直すのも効果的です。

例えば生命保険や医療保険。

今は大した利率が期待できないわけですから、養老保険などの積立型保険に加入している人は、掛け捨てタイプに移行して、浮いたお金を投資に回した方がよっぽどお金は増えます。

積立保険は、結局のところ「掛け捨て」部分と「貯金」部分の2つから成り立っています。

わざわざ貯金部分を保険で運用する必要はなく、むしろ自分で金利の高い定期預金に入れた方がいいです。

また、自動車保険についても、インターネット系の保険会社を利用すれば保険料を大幅に削減できますから、積極的に利用したいところです。

無理のない範囲で節約しよう

節約をする上で大切なのが、無理のない範囲で節約をすることです。

自分が嫌な気持ちになるくらいシリアスに節約をすると、毎日楽しくありません。

あなたは人生を楽しむために生まれてきたわけですから、つらい気持ちを感じてまで節約する必要はないと思います。

あなたが無理を感じない範囲で節約するように心がけましょう。

むしろ、次から説明する「収入を増やす」方に集中した方がよっぽどいいと思います。

収入を増やす

さて、世の中には様々な節約を実践している人が多いですが、不思議と「収入」の方にフォーカスしている人はいません。

多くの人が見逃しているのが、収入を増やすという発想です。

そもそも節約をしたところで、節約できる金額には限度があります。

頑張って節約したからといって、支出が月5万円も減るかといったら、それは相当厳しいのではないのでしょうか？

月5万円も節約していると、すごく心がひもじくなりますし、毎日がつまらなくなると思えます。

むしろ、例えば転職して給料をアップさせたり、投資や副業を始めた方が、どう考えてもいいですね？

これからの時代は、「副業解禁」というニュースに見られるように、会社の給料だけに依存した人生設計は厳しくなります。

これからは、すべての人に複数の収入源があることが普通になります。

さて、前置きはここまでにします。

この章では、具体的に収入を増やす方法を解説していきます。

アルバイト・パートを始める

サラリーマンにとって最もハードルが低いのが、アルバイトやパートを始めることです。

例えば奥さんが専業主婦なら、時間の合間を縫って短時間でパートを始めれば、簡単に収入を増やせますね。

もしもそれが難しいなら、あなたが仕事後や休日の時間を使ってアルバイトを始めてみるというでしょう。

アルバイトなら確実にお金を稼ぐことができます。

一方で、大半の会社は副業禁止のはずですので、アルバイトを始めるのはハードルが高いと言えます。

また、アルバイトは「労働型」の収入であることも忘れてはいけません。

つまり、あなたの貴重な「時間」を捧げないとお金がもらえないということです。

せっかくお金がもらえても、家族との時間や自分の時間を犠牲にしていたら、元も子もありませんよね。

アルバイトは最も確実にお金を稼ぐ方法ですが、副業規定に引っかかったり、時間を取られるデメリットがあります。

転職

思い切って転職をするのもいいでしょう。

転職をして今より年収がアップすれば、すごくいいですね。

年収が50万円上がったら、50万円分の節約を頑張ったのと同じ効果があります。

最近では転職に対するネガティブなイメージがだいぶ改善されてきましたので、転職も選択肢としては十分にありだと思います。

かくいう僕も、一度転職しています。

転職をする前は、正直不安でいっぱいでした。

でも、いざ転職をしてみると、「転職してよかったな～」と強く思います。

転職をすることで年収が上がって残業がなくなりましたし、自分のやりたい仕事ができるようになりました。

だから、僕は今仕事がとても楽しいですし、これだけの資産を築いた今でも、好きで働いています。

「転職するのが怖い」という人は、転職はしないまでも転職活動だけしてみてもいいと思います。

転職活動で色々な会社を見ていると、「うちの会社って意外と待遇が良かったんだな〜」「こんなビジネスをしている会社があるんだ」など、色々な発見があると思います。

転職活動をしてみて、今の会社のままでいいと思ったら、そのまま仕事を続ければいいですし、やっぱり嫌だと思ったら、転職すればいいんです。

今の仕事に少しでも不満があるのなら、自分の視野を広げる意味でも、思い切って転職活動を始めようとお勧めします。

副業

副業は、収入を増やす上でおすすめな方法です。

副業とは、会社員として働きつつも、サイドビジネスを行うことを言います。

最近ニュースで副業の話が取り上げられることが多くなりましたが、今や副業は少しずつ世の中に受け入れられるようになってきました。

副業と言ってもその種類は様々で、例えばクラウドソーシングというインターネット上のマッチングサイトを利用して、簡単なデータ入力作業やライティング作業を行ったり、はたまたメルカリやヤフオクなどを活用した不用品販売をしたり、ホームページを立ち上げてアフィリエイトする方法もあります。

不用品販売は、自宅にある不要なものをメルカリやヤフオクで販売して利益を得ます。

また、転売は例えばヤフオクで仕入れてアマゾンで販売することで、差額を利益として得ます。

いずれの方法も、頑張れば毎月数十万円の利益をあげることができます。

副業そのものは時間も手間もかかりますが、やる気さえあればかなりの金額を稼ぐことができます。

やる気さえあれば、そのまま起業して、サラリーマンを独立することだって夢じゃありません。

投資

さて、収入を増やす最後の方法が投資です。

投資のいいところが、基本的には「副業」に当たらないことです。

例えば、あなたの職場に一人ぐらいは株式投資をやっている人がいると思います。

果たして、その人は副業だといって会社から投資を禁じられていますか？

そんなことはないですよ。

副業はちょっと厳しいですが、投資は結構グレーな立ち位置のため、投資をしていることがバレてもあまり問題はないと思います。

また、投資のいいところは、何と言っても時間があまり拘束されないところです。

例えば不動産投資なら、一度物件の運営が回り出しさえすれば、あとはほぼ自動で収入が入ってきます。

株式投資やFXなら、仕事の片手間に取引するだけで、お金を稼ぐことができます。

このように、投資を始めれば、時間を取られることなく収入が増やせるメリットがあります。

そして、投資でお金が増えたら、そのお金は次の投資に回すために取っておきましょう。

これを再投資と言います。

せっかくお金が増えても、それを散財しては何の意味もありません。

再投資を繰り返すことで、お金は本当に驚くぐらいのスピードで増えていきます。

今、お金が非常に重要な理由

さて、サラリーマンのあなたは、毎月様々な出費があると思います。

毎月の食費や水道光熱費はもちろん、住宅ローンの支払いだったり、車の維持費だったり、さらには子供の教育費用もかかります。

金銭的には決して楽ではないでしょう。

でも、今の生活は決して楽ではないかもしれませんが、なんとか生きていくことはできますよね？

というのも、あなたは「現役世代」なわけですから、会社の給料という安定収入が確保されているからです。

それに、万が一生活が苦しくなったら、夫婦共働きで働いたりパートに出たりして、何とか今の生活は続けられるはず。

ところで、ここで1つ考えて欲しいことがあります。

それは、「老後」はそんな生活を続けられるかということです。

老後を迎えたら、あなたは会社を引退して「年金」だけで暮らしていくこととなります。

果たして、年金だけで生活していくことはできるのでしょうか？

結論から言うと「NO」です。

年金だけでは生活していくことはできません。

だから、老後に貯金がない人は、おじいちゃん・おばあちゃんになってまでアルバイトで働くか、はたまた生活保護を受けたりするしか方法がありません。

今あなたが最も考えるべきことは、「老後働けなくなったときにどうするか？」ということなのです。

老後にいくら必要？

老後の準備をするにあたっては、老後にどれぐらいのお金が必要なのかを認識する必要があります。

それでは、私たちは老後にいくらお金が必要なのでしょう？

答えをいうと

「3,460万円」

です。

そう。私たちは会社を定年するまでに3,460万円のお金がないと大変なことになってしまうのです。

それでは、この3,460万円というお金を算出した根拠を、順番に解説していきます。

老後は月13万円が不足する

老後に必要な生活費は、生命保険文化センターの「[生活保障に関する調査（平成28年度）](#)」で明らかになっていて、老後に豊かな生活を送るためには、夫婦で「月35万円」のお金が必要です。

「豊かな生活」というのは、例えば定期的に夫婦で旅行に行ったり、子供にプレゼントを買ってあげたり、そういったお金も含んでのことです。

ちなみに、平均的な生活水準でいいなら、「月22万円」でも大丈夫です。

でも、老後ぐらいは、お金のことを気にしないでゆったりと自由に過ごしたいですよね？

そういう意味で、老後に必要な生活費は「月35万円」と考えるのがいいと思います。

一方、老後にもらえる年金は、夫婦共働きで「月33万円」、専業主婦の家庭で「月22万円」と言われています（少子高齢化が進むため、これよりもっと少なくなるはずですが、）。

ここでは手堅く見積もりたいと思いますので、老後の収入は「月22万円」だと考えてみましょう。

そうすると、老後の家庭では月13万円（出費35万円-収入22万円）のお金が不足することが分かります。

退職までに3,460万円の貯金が必要

今は人生100年時代なんて言われていますから、65歳で会社を引退すると考えると、老後は「35年」ぐらいたる計算になります。

つまり、月13万円の不足が35年間続くと考えると

5,460万円（13万円×12ヶ月×35年）

ものお金が不足する計算になります。

でも、この5,460万円という金額には、「退職金」が含まれていません。

さて、一般的なサラリーマンの退職金は、ざっくり2,000万円ぐらいです。

つまり、老後に不足する3,460万円に、退職金である2,000万円を充てることができますの

で、退職時まで3,460万円（不足額5,460万円-退職金2,000万円）の貯金があればいいこととなります。

毎月やりくりするだけでも厳しいのに、さらに3,460万円もの大金を現役のうちに貯金しなければいけないのです。

正直、厳しくないですか？

老後のために今からできることは？

老後までに3,460万円ものお金を貯めるのは、正直かなり厳しいです。

でも、そのお金を貯めることができないと、あなたはおじいちゃんになってまでアルバイトで働くか、はたまた生活保護を受けるしかありません。

あなたはこんな老後を迎えたいですか？

さて、この3,460万円を現役時代に貯金することを考えてみましょう。

例えば、今35歳の人が定年を迎える65歳までにお金を貯めるためには、

月9.6万円（3,460万円÷30年÷12ヶ月）

の貯金が必要となります。

ちなみに、今25歳の方は毎月7.2万円、45歳の方は毎月14.4万円貯金する必要があります。

さて、今の生活ですらままならないのに、果たして毎月「9.6万円」も貯金することは可能でしょうか？

多分、無理ですよ。

月10万円近くのお金を毎月貯金に回すのは、どう考えても現実的ではありません。

将来に対して「何とかなるっしょ！」と楽観的なイメージを持っている人がかなり多いと思いますが、「何とかならない」のが現実です。

あなたにまず認識して欲しいのが、サラリーマンのほとんどが老後に路頭に迷う可能性が高いということです。

最後に

この教材では、お金の基本的な考え方と、その増やし方、さらにはこれからの時代、お金が今まで以上に重要になっている背景を説明してきました。

正直、どの話もなんとなく耳にしたことがあると思いますが、詳しく内容まで知っている人は少ないと思います。

この教材を読んだあなたが、現状に危機感を覚えて、そして行動に移してくれたら、非常に嬉しいです。

目代康二